

開院時から毎月発行してきたカスタネット通信ですが、ついに来月50号を迎えます。毎回楽しみにしてくださっている方、内容についてコメントをしてくださる方もいらっしゃる、とても嬉しく思っています。そこで過去にどのようなことをテーマに書いたか、50号分振り返ってみたいと思います(来月号の予定は決まっているので、それも入れました)。テーマ毎に分類したので気になるものがあれば、ホームページでチェックしてくださいね！

カスタネット通信、振り返り



2020年8,9月
2021年1,4,6,7月
2022年1,4,5,8,9,10月
2023年5,6月

『聞こえ』関連

オギジビの補聴外来、補聴器購入時の各種助成の内容、聞こえを補うコミュニケーション方法、子どもの聴力検査など、内容は多岐に渡ります。



2021年11,12月
2022年7,11月
2023年7,8,10,11,12月
2024年4,7月

学会、講習会、研修会

学会発表や講師を務めた講習会・研究会の報告です。補聴外来のデータや高齢期難聴など、こちらも『聞こえ』に関する話題が多くなりました。コロナが5類感染症に移行したためか、2023年は講習会や研修会が多かった気がします。



2020年10,11,12月
2022年3月
2023年1,3月
2024年3月

絵本について

毎年3月はオギジビ文庫で購読している月刊絵本の中から、印象に残ったものを紹介をしています。STが教材として使用している絵本も紹介しました。絵本マスターとの対談記事もあります。



2020年6月
2021年3月
2022年2月
2023年2月
2024年1,2,5月

クリニック全体に関すること

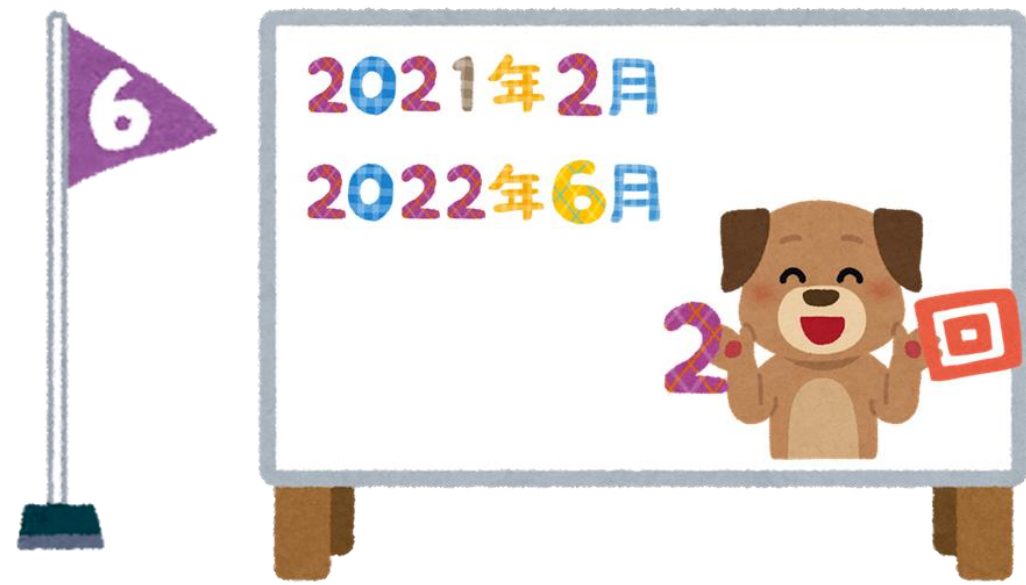
記念すべき第1号はSTの紹介でした。2022年以降の2月号は「主訴」「年齢」など、前年のST初診のデータをまとめて報告しています。



2020年7月
2021年9月
2023年4月

構音障害(発音の誤り)

構音障害を主訴に受診される方は、例年聴覚障害に次いで多いため、構音障害・構音の評価・誤りをなおすための構音訓練について、定期的にテーマとして取り上げています。



ことばの発達

意外に少なかったのが、ことばの発達に関連する話題でした。評価の話、教材の話が1回ずつでした。

その他



その他

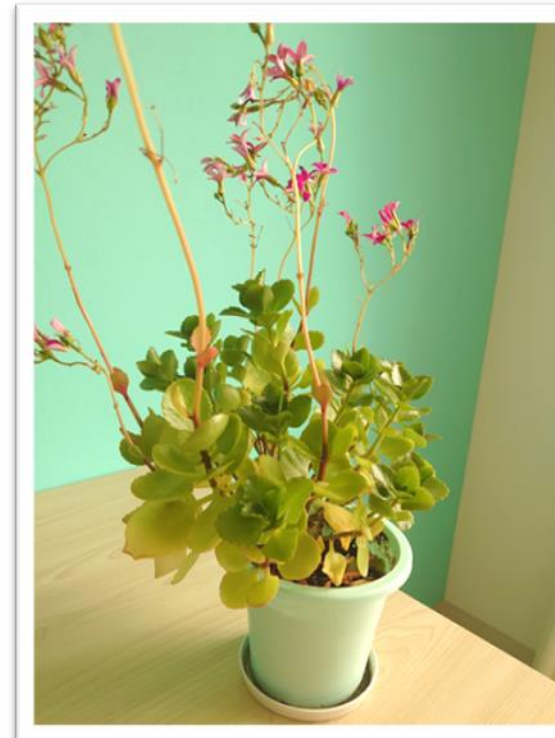
音楽ワークショップ、補聴器工場の見学、ST専攻の学生の臨床実習などについてです。工場見学、また行きたいです。

ちなみに50号は6月末に神戸で開催される、第25回日本言語聴覚学会の報告です。

ST室の植物～剪定と挿し木～

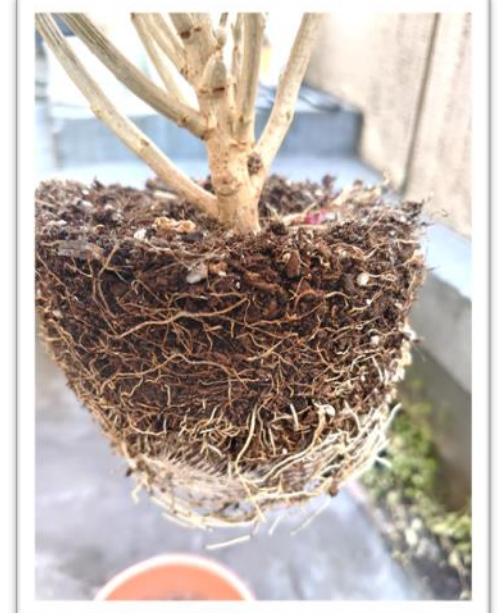


ゴールデンウィーク恒例、といっても2シーズン目ですが、ST室で育てているカランコエとポインセチアの剪定を行いました。植物のお世話に関しては全てネットから情報を得ているのですが、剪定は十分暖かくなった4、5月が適しているそうなので、この時期を選びました。右の写真のようにカランコエは花は咲いているけれど、茎がひょろひょろと徒長して不格好になっていました。一方のポインセチアはクリスマス時期には咲かなかった花(先端にある小さな粒つぶ)がいくつか咲いていました。



↑ ひょろひょろカランコエと花が咲いたポインセチア

まずはカランコエの剪定です。まだ花も咲いていたのでもったいない気持ちもあったのですが、ひょろひょろ伸びた茎や黄色くなった葉っぱを取り除き、形を整えました。切った葉茎は「挿し木」をすることにしました。昨年は土の上に切り取った葉を置いて増やす「葉挿し」に挑戦したのですが、ひとつも育たず失敗したので、今年は茎も残して土に挿す「挿し木」です。



↑ テントウムシがやってきた ↑ ラピュタみたい

ポインセチアの剪定は「下から15～20cm残して切る」「葉っぱは無くても問題ありません」という情報を得たので、かなり大胆に行いました。でも本当にこの状態から葉っぱが生えてくるのか、若干不安です。切った葉茎はカランコエ同様、挿し木にしました。



↑ さて、ここからどう育っていくでしょうか

ところで、ドラえもののひみつ道具「バイバイン」をご存知ですか？ある物に「バイバイン」を1滴たらすと、5分毎に倍に増えていくという道具です。のび太くんは栗饅頭にこの薬をかけ、大変な事態に陥りました。挿し木の成否や成長速度は分かりませんが、毎年剪定&挿し木を繰り返したらどこまで増えるのでしょうか！